

日本民家園 生田緑地に

屋根付き休憩所の整備を

6月市議会で斉藤たかし議員が求めました



日本共産党
市議会議員

斉藤たかし

市政だより

6月議会の一般質問で斉藤たかし議員は、日本民家園や生田緑地の休憩場所の問題について質問しました。民家園の昨年の来場者は約11万人で、そのうち高齢者は約2万3千人でした。日差しが強い日には屋根付きの休憩場所が必要です。雨の日は、

複数の小学校から100人以上の来場があると大変で、昼食場所は岡本太郎美術館の「母の塔」の下やブルートレインの中を利用しています。斉藤議員は、周辺環境に配慮し、計画的な設置を進めるべきと求めました。

青少年科学館の改築で 100席のレストスペース、 180人収容の学習室を設置へ

斉藤議員の質問に対し教育長は、青少年科学館の改築整備で、新たに約100席収容可能な屋根付きのレストスペースを整備するとともに、新館施設内に約180名が利用可能な学習室を設置する予定で、雨天時の学校利用等の昼食場所として利用できるよう、2011年度末予定の

リニューアルオープンで整備すると答えました。



青少年科学館

芝生広場内に 野外テーブル5基、 木陰にベンチ13基

また斉藤議員は、生田緑地中央広場の整備工事にあたって、市民要望の強い屋根付き休憩施設を設置すべきと要求。建設緑政局長は、新たに芝生広場周辺に野外テーブル5基(1

基で4人座れる)、木陰に設置するベンチを13基、さらに湧水を活用した池の近くに縁台を備えた日除けとしてパーゴラを1基など今年度内に整備する予定と答えました。



生田緑地

「消費税増税でなく、軍事費など徹底的に見直せ」と意見書提案

斉藤たかし議員が提案説明

6月市議会で共産党市議団は、「消費税の増税でなく、大企業・大資産家への優遇税制や防衛費を徹底して見直すことを求める意見書」を提案。代表して斉藤たかし議員が提案説明を行ないました。

斉藤議員は「ゆきすぎた大企業・大資産家への優遇税制や、年間5兆円の防衛費を徹底して見直し、過去最大の3,370億円に膨れあがった在日米軍への思いやり予算の撤廃などで、財政の健全化や社会保障の財源は十分に確保することができる」と主張しました。

「意見書案」には民主・自民・公明・ネットなどが反対。



提案説明をする斉藤議員
(6月17日、川崎市議会)

プレミアム付き商品券の発行など商店街の取り組みに支援を

6月議会で斉藤議員は、プレミアム付き商品券発行への支援について質問。昨年、多摩区商店街連合会が発行した商品券は6ヵ月間で、加盟店へ1,220万円の販売額をもたらし、新たな顧客獲得にもつながり、大きな経済効果が得られたと聞きました。斉藤議員は、商店会から「プレミアム付き商品券発行は経費がかかる。支援があったら、また挑戦したい」との

要望を受け、市が、宣伝費・印刷代、プレミアム分の半分を支援し、同事業について商店街連合会と協議を進めるよう求めました。

また斉藤議員は、区画整理事業などで家並みも変わり、地域の商店街づくりには専門的知識が必要になっていると述べ、商店会が望むコンサルタント派遣などの支援策を求めました。



登戸の東通り商店会役員から聞きとりする斉藤議員

議会報告
2010年8月
第38号

発行者
日本共産党
川崎市議員団
(川崎市役所内)
☎ 044(200)3360
その他連絡先
日本共産党川崎
北部地区委員会
☎ 044(281)3501